

ようこそ、土地改良区へ 〈上野土地改良区〉

地域の概要

当土地改良区は、三重県中西部伊賀市の東部に位置し、伊賀盆地に源を發し京都府を経て大阪湾に注ぐ淀川水系木津川の支流、服部川に用水源を求めており、伊賀市の中心市街地（旧上野市）の上縁部を囲むように東から西にかけて広がる地域がエリアであるところから、改良区の名称に上野を冠しています。

合併した服部川沿岸、中瀬川南、小田町の3土地改良区とも服部川を共通の水源として地域農業用水の安定供給のため、上野頭首工・真泥ダムの基幹施設の維持管理と総受益面積384haへの開水路維持と、平成23年度に県営経営育成基盤整備事業として安定したパイプラインによる用水供給の基盤整備を施工して水稻を中心とした地域農業の振興を図ってまいりました。又、水稻以外には白鳳梨や園芸野菜の産地化を目指しています。



南北幹線水路分岐点



真泥池

現状と課題

しかし、近年の農業経営は統合当時と比べて大きく変化し、大規模店舗の進出や市街地化の拡大による農地の減少といった全国的な傾向に加えて、就農者の高齢化と後継者不足からの離農者が増加し、将来に不安を抱えています。

さらに、取水源である上野頭首工・真泥ダムの基幹施設も整備して約50年を、パイプライン施設も施工後10年以上経過し老朽化が懸念されており、それらの維持管理等の課題が山積しております。

今後、これらの課題について、組合員の叡智と関係機関・団体との連携を強固にし積極的に取り組み、地域の活性化と農業振興に努めてまいりたいと考えております。



上野頭首工



パイプライン